

## 第3章 みどりの将来像を描く

### 1 みどりの将来像

#### みんなでつなげる 人とみどりがいきるまち

目標 みどり率 29.6%（平成 29 年 29.6%）

本計画では、みどりの保全、創出、維持管理、活用など様々な取組を通じて、市民とみどりをつなげながら、市民とみどりがともにいきいきと生きる・活きるまちを目指す、という意味で、みどりの将来像を「**みんなでつなげる 人とみどりがいきるまち**」とします。

小平グリーンロード、幹線道路沿いのみどり、用水路のみどりを中心とした水と緑のつながりを大切に、公園や樹林地など個性豊かな小平のみどりを次世代に引き継いでいきます。

目標については、緑被率に「用水路等の水面が占める割合」と「公園内で樹木等の緑で覆われていない地面が占める割合」を加えたみどり率を 29.6%に維持することを目標とします。開発等により減ってしまうみどりもありますが、新たなみどりを創出することで、小平のみどりを維持し保全を図っていきます。



樹林地や緑道における巣箱設置



市民との協働による樹林保全活動

## 2 みどりの将来構造

小平市のみどりの維持・保全を図りながら、みどりの将来イメージを実現するため、みどりの現況を踏まえて、みどりの拠点、みどりのゾーン、水と緑のネットワークから構成されるみどりの将来構造を設定しました。

### (1)みどりの拠点

公園・緑地やみどりが多い公共空間など、みどりの要となっている場所をみどりの拠点として位置付けます。多くの市民が日常的に利用し、関わることで、育ち、活かされていく、みどりの拠点づくりを目指します。

みどりの拠点	概要
公園・緑地のみどり	概ね 3,000 m <sup>2</sup> 以上の公園・緑地
施設等のみどり	公共施設や民地においてまとまったみどりがあるオープンスペース

### (2)みどりのゾーン

まとまったみどりがある面的な広がりのみどりのゾーンとして位置付けます。地区の特性に応じたゾーン区分を行い、小平市らしいみどりのまちづくりを目指します。

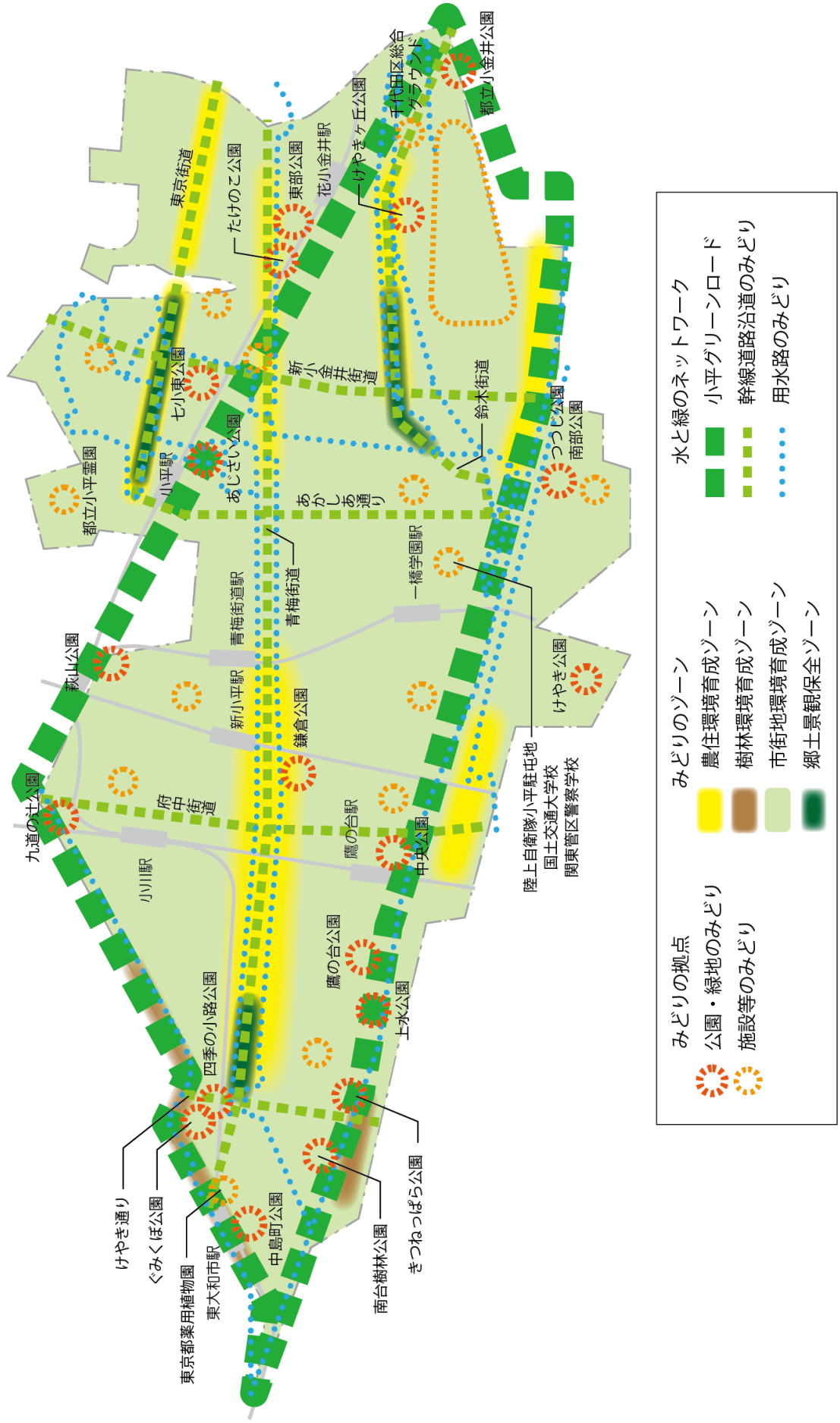
みどりのゾーン	概要
農住環境育成ゾーン	街道沿いの屋敷林、農地、用水路などが分布するゾーン
樹林環境育成ゾーン	規模の大きな雑木林がまとまっているゾーン
市街地環境育成ゾーン	みどり豊かな市街地が形成されているゾーン
郷土景観保全ゾーン	屋敷林や雑木林、南北に地割された短冊形の農地、用水路など、特に郷土性が高いゾーン

### (3)水と緑のネットワーク

玉川上水や野火止用水などで構成する小平グリーンロードと街路樹のある主要な道路、用水路の連続したみどりを水と緑のネットワークとして位置付けます。このネットワークを中心として、つながりのある水と緑の形成を目指します。

水と緑のネットワーク	概要
小平グリーンロード	狭山・境緑道、玉川上水、野火止用水などで構成する小平市を一周するみどりの骨格
幹線道路沿道のみどり	幹線道路の街路樹や沿道緑化等による連続したみどりの軸
用水路のみどり	小平グリーンロードに含まれる用水路などによるネットワーク

# みどりの将来構造図



### 3 みどりのまちづくりの基本方針

みどりの将来像である「みんなであつなげる 人とみどりがいきるまち」を実現していくための基本的な考え方として、以下の三つの基本方針を設定し、みどりのまちづくりを進めます。

#### (1)市民の共有の財産として質の高いみどりを守り育てよう

小平市においては、みどりの骨格である小平グリーンロードや中央公園、都立小金井公園などの大規模な公園、樹林地や農地、用水路が多く存在し、これまで、市民・事業者・市が協働し、保全の取組を進めてきました。

これらのみどりは市民共有の財産であるとともにまちの魅力を高める重要な要素であるため、これからも守り育て、次世代へと引き継いでいきます。

#### (2)市民生活や様々な活動の中でみどりを活かそう

市民の日常生活や様々な活動の場において、積極的なみどりの活用を図ります。小平グリーンロードや樹林地、農地など小平らしいみどりの個性を活かしながら、従来の保健・福祉・レクリエーション、防災、環境保全等に加え、学習、交流・観光・地域活性化等の分野でもみどりの積極的な活用を図ります。

#### (3)多様な主体がみどりのまちづくりに関わろう

みどりの活用による市民生活や活動の充実に向けて市民への意識啓発に取り組みます。また、みどりに関わる主体の育成やみどりのまちづくりに参加できる場、機会の充実など市民にとってより良いみどりのまちづくりを推進するという意識のもと、より多くの市民がみどりに関わる取組を推進します。



ホタルの夕べ



用水路沼さらい